

愛知工業大学
名古屋電気短期大学
名古屋電気工業高等学校
愛知工業大学附属中学校

工 業 大 学

発行所
名古屋電気学園同窓会
名古屋千種区若木町1の18
TEL 0012-6639-6642 4530

愛知工業大学の開学式

新大学本館も披露

知事・市長・中電社長ら
各界の名士九百名を招待

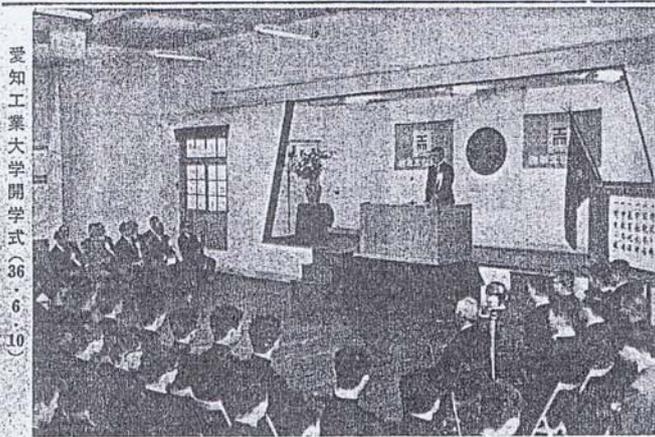
本学園愛知工業大学電気工学科は昭和三十四年の四月に開講されている。しかし、時勢の要求に迫られて大学設置企画の一部を実現したに止まり、学園としてより大なる「全力の傾倒」がその後期待されていたのである。一方大学本館の建設等の事業も突破しなければならぬ壁として眼前に聳立していたのである。開学式が延期されていたのは主としてこの理由によるのである。学園の努力は、翌三十五年四月には電子工業科及び応用化学科の設置を果たし、本年五月に

は、待望の鉄筋五層の大学本館が完工して、茲に、時宜に選じた開学式挙行の日を迎えることができたのである。

式は六月十日に学園講堂で盛大に行われた。当日に前後して大学友会では文化祭、体育大会が企てられ、高松、付属中学も協賛的に呼応、盛んな各種学園祭を催して、和気と活気の渦をうらみに、学園の栄光を祝ったのだ。

尚開学式当日の来賓は文部省から文部大臣代理、関野房夫氏（文化財保護委員会事務局次長）、郵政大臣代理、西崎太郎氏（電波管理局長）、西崎太郎氏（電波管理局長）、西崎太郎氏（電波管理局長）が顔々来名、臨席して頂くことができた。その他左記の方々の出席をえまつた。

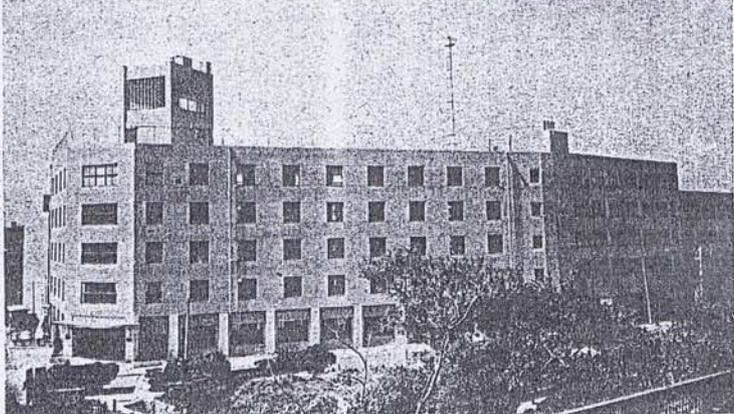
政界からは、桑原幹根氏



愛知工業大学開学式(36.6.10)

学長式辞

志ざし、電気工業の初歩を教授する為名古屋電気工学科を開設し、に始まり、大正元年十二月の時、愛知県知事の認可を得て、名古屋電気学校と改称して以来、嘗々として初級技術者の養成に専心して参りました。昭和十四年志し、中途に大正十四年志し、中途に私を継ぎ、その経営に携って参りました。戦後、学制改革に当り昭和二十四年高等学校の認可を得、更



に昭和二十九年短大の認可を文部省より得て電気科を設置、更に之を母胎として昭和三十四年名古屋電気工学科を開設し、に始まり、大正元年十二月の時、愛知県知事の認可を得て、名古屋電気学校と改称して以来、嘗々として初級技術者の養成に専心して参りました。昭和十四年志し、中途に私を継ぎ、その経営に携って参りました。戦後、学制改革に当り昭和二十四年高等学校の認可を得、更

開学記念祭盛大に行われる
大学完成と開学記念をかね、五月二十七日から六月十三日までの長きにわたって学園祭が盛大に行われた。大学の部
五月二十七日
ダンスパーティー、名古屋古屋市立女子短大校長、県市体育協会の各部長。

開学式当日の来賓は文部省から文部大臣代理、関野房夫氏（文化財保護委員会事務局次長）、郵政大臣代理、西崎太郎氏（電波管理局長）、西崎太郎氏（電波管理局長）が顔々来名、臨席して頂くことができた。その他左記の方々の出席をえまつた。

政界からは、桑原幹根氏

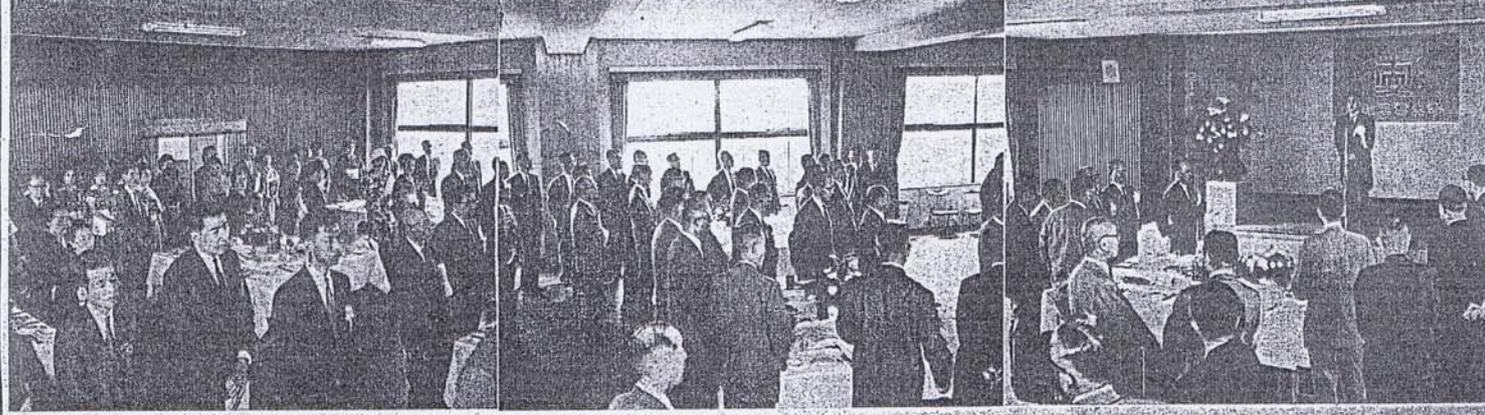
開学式当日の来賓は文部省から文部大臣代理、関野房夫氏（文化財保護委員会事務局次長）、郵政大臣代理、西崎太郎氏（電波管理局長）、西崎太郎氏（電波管理局長）が顔々来名、臨席して頂くことができた。その他左記の方々の出席をえまつた。

政界からは、桑原幹根氏

開学式当日の来賓は文部省から文部大臣代理、関野房夫氏（文化財保護委員会事務局次長）、郵政大臣代理、西崎太郎氏（電波管理局長）、西崎太郎氏（電波管理局長）が顔々来名、臨席して頂くことができた。その他左記の方々の出席をえまつた。

政界からは、桑原幹根氏

祝愛知工業大学



盛大な祝宴会会場風景

